

Mac OS X 用 VMware View Client の使用

2012 年 3 月
View Client

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-000668-01

vmware®

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/pubs/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2010–2012 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。本製品は、米国著作権法および米国知的財産法ならびに国際著作権法および国際知的財産法により保護されています。VMware 製品には、<http://www.vmware.com/go/patents-jp> に列記されている 1 つ以上の特許が適用されます。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴァイムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

1	Mac OS X 用 VMware View Client の使用	5
	セットアップとインストール	5
	Mac OS X クライアントのシステム要件	6
	サポートされている View デスクトップのオペレーティングシステム	6
	View Client 向けの View Connection Server の準備	7
	Mac OS X への View Client のインストール	7
	View Portal を使用して View Client をインストールする	8
	Dock への VMware View Client の追加	8
	サーバ接続とデスクトップの管理	8
	初回の View デスクトップへのログイン	9
	View Client の証明書確認モード	10
	エンドユーザーの証明書確認の構成	11
	デスクトップの切り替え	11
	デスクトップからのログオフまたは切断	11
	ホーム画面からの View サーバショートカットの削除	12
	デスクトップのロールバック	12
	Mac での Microsoft Windows デスクトップの使用	13
	機能サポーター一覧	13
	国際化	14
	テキストとイメージのコピーアンドペースト	14
	View Client のトラブルシューティング	14
	デスクトップのリセット	14
	View Client のアンインストール	15
	インデックス	17

Mac OS X 用 VMware View Client の使用

このガイド『Mac OS X 用 VMware View Client の使用』では、データセンター内の View デスクトップに接続するために、Mac に VMware View™ ソフトウェアをインストールして使用方法について説明します。

このドキュメントには、Mac OS X 用 View Client をインストールおよび使用するためのシステム要件と手順が記載されています。

これらの情報は、Mac クライアント デバイスを含む VMware View を設定する必要がある管理者を対象としています。これらの情報は、仮想マシン テクノロジーおよびデータ センターの運用に精通している経験豊富なシステム管理者向けに記述されています。

■ セットアップとインストール (P. 5)

Mac クライアント向けに View の展開をセットアップするには、特定の View Connection Server 構成を使用し、View サーバと Mac クライアントのシステム要件に適合させ、VMware の Web サイトから Mac OS X 用 View Client をダウンロードしてインストールします。

■ サーバ接続とデスクトップの管理 (P. 8)

View Client を使用して View Connection Server またはセキュリティ サーバに接続し、View デスクトップにログインするか View デスクトップからログオフします。トラブルシューティングする場合にも、割り当てられている View デスクトップをリセットし、チェックアウトしたデスクトップをロールバックできます。

■ Mac での Microsoft Windows デスクトップの使用 (P. 13)

Mac OS X 用 View Client では、Windows 用 View Client に搭載されている機能の一部がサポートされています。

■ View Client のトラブルシューティング (P. 14)

View Client に関するほとんどの問題は、デスクトップのリセットまたは VMware View Client の再インストールで解決することができます。

セットアップとインストール

Mac クライアント向けに View の展開をセットアップするには、特定の View Connection Server 構成を使用し、View サーバと Mac クライアントのシステム要件に適合させ、VMware の Web サイトから Mac OS X 用 View Client をダウンロードしてインストールします。

■ Mac OS X クライアントのシステム要件 (P. 6)

Mac OS X 用 View Client は、Mac OS X 10.6.8 以降のオペレーティング システムを使用する Intel ベースのすべてのモデルにインストールできます。

■ サポートされている View デスクトップのオペレーティング システム (P. 6)

管理者は、ゲスト OS を持つ仮想マシンを作成し、そのゲスト OS に View Agent をインストールします。エンド ユーザーは、クライアント デバイスからこれらの仮想マシンにログインできます。

- [View Client 向けの View Connection Server の準備 \(P. 7\)](#)
エンドユーザーが View デスクトップに接続できるようにするには、特定のタスクを管理者が実行する必要があります。
- [Mac OS X への View Client のインストール \(P. 7\)](#)
エンドユーザーは、View Client を開いて、Mac OS X の物理マシンから仮想デスクトップに接続します。View Client をディスク イメージ ファイルから Mac OS X クライアントシステムにインストールします。
- [View Portal を使用して View Client をインストールする \(P. 8\)](#)
View Client アプリケーションをインストールするときは、ブラウザを開いて View Portal Web ページを参照するのが便利な方法です。
- [Dock への VMware View Client の追加 \(P. 8\)](#)
他のアプリケーションと同じような操作で、View Client を Dock に追加できます。

Mac OS X クライアントのシステム要件

Mac OS X 用 View Client は、Mac OS X 10.6.8 以降のオペレーティングシステムを使用する Intel ベースのすべてのモデルにインストールできます。

View Client をインストールする Mac とその周辺機器は、一定のシステム要件を満たしている必要があります。

モデル	Intel ベースの Mac
メモリ	RAM 最小で 2GB の RAM
オペレーティング システム	Mac OS X Snow Leopard 10.6.8 および Mac OS X Lion 10.7.0 以降
View Connection Server、セキュリティ サーバ、および View Agent	4.6 以降 企業のファイアウォールの外部からクライアントシステムが接続する場合には、セキュリティ サーバを使用することを推奨します。セキュリティ サーバでは、クライアントシステムで VPN 接続が必要にはなりません。
VMware View の表示プロトコル	PCoIP または RDP
RDP のソフトウェア要件	Microsoft Remote Desktop Connection Client for Mac バージョン 2.0 以降。このクライアントは Microsoft の Web サイトからダウンロードできます。

サポートされている View デスクトップのオペレーティング システム

管理者は、ゲスト OS を持つ仮想マシンを作成し、そのゲスト OS に View Agent をインストールします。エンドユーザーは、クライアント デバイスからこれらの仮想マシンにログインできます。

サポートされているゲスト OS の一覧については、VMware View 4.6.x または 5.x のインストール マニュアルの「View Agent でサポートされるオペレーティング システム」を参照してください。

重要 仮想マシンで Windows 7 を使用する場合、そのホストは ESX/ESXi 4.0 Update 2 以降、ESX/ESXi 4.1 Update 1 以降、または ESXi 5.0 以降でなければなりません。

View Client 向けの View Connection Server の準備

エンドユーザーが View デスクトップに接続できるようにするには、特定のタスクを管理者が実行する必要があります。

エンドユーザーが View Connection Server またはセキュリティ サーバに接続して、View デスクトップにアクセスできるようにするには、プールの設定およびセキュリティの設定を構成する必要があります。

- セキュリティ サーバを使用している場合は、VMware は、View Connection Server 4.6 以降または View Security Server 4.6 以降であることを確認するよう推奨します。View 4.6 以降の VMware View インストールドキュメントを参照してください。
- クライアント デバイスに安全な接続を使用する予定で、その安全な接続が View Connection Server またはセキュリティ サーバの DNS ホスト名を使用して構成される場合には、この DNS 名がクライアント デバイスによって解決できることを確認します。

安全なトンネルを有効または無効にするには、View Administrator で [View Connection Server 設定の編集] ダイアログ ボックスに移動して、[デスクトップへの安全なトンネル接続を使用する] チェックボックスを使用します。

- 仮想デスクトップ プールが作成済みであること、および使用予定のユーザー アカウントにこの View デスクトップへのアクセス権が付与されていることを確認します。デスクトップ プールの作成については、『VMware View 管理』ドキュメントを参照してください。

Mac OS X への View Client のインストール

エンドユーザーは、View Client を開いて、Mac OS X の物理マシンから仮想デスクトップに接続します。View Client をディスク イメージ ファイルから Mac OS X クライアント システムにインストールします。

開始する前に

- クライアントシステムがサポートされているオペレーティング システムを使用していることを確認します。[[Mac OS X クライアントのシステム要件 \(P. 6\)](#)] を参照してください。
- クライアントシステムに管理者としてログインできることを確認します。
- RDP 表示プロトコルを使用して View デスクトップに接続する予定の場合には、Mac クライアントシステムに Microsoft Remote Desktop Connection Client for Mac のバージョン 2.0 以降がインストールされていることを確認します。
- Mac OS X 用 View Client のディスク イメージ ファイルがあるダウンロード ページの URL がわかっていることを確認します。

手順

- 1 Mac から、View Client のディスク イメージ ファイルがある Web ページを参照します。
ディスク イメージ ファイル名の形式は、**VMware-View-Client-<y.y.y>-<xxxxxx>.dmg** です。<xxxxxx> はビルド番号を、<y.y.y> はバージョン番号を表しています。
- 2 **.dmg** ファイルをダブルクリックして開き、[同意する] をクリックします。
ディスク イメージのコンテンツが、VMware View Client Finder ウィンドウに表示されます。
- 3 [Finder] ウィンドウで、[View Client] アイコンを [アプリケーション フォルダ] アイコンにドラッグします。
管理者ユーザーとしてログインしていない場合、管理者のユーザー名とパスワードの入力が求められます。

次に進む前に

View Client を開始して、正しい仮想デスクトップにログインできることを確認します。[[初回の View デスクトップへのログイン \(P. 9\)](#)]

View Portal を使用して View Client をインストールする

View Client アプリケーションをインストールするときは、ブラウザを開いて View Portal Web ページを参照するのが便利な方法です。

開始する前に

- View Connection Server インスタンスの URL がわかっていることを確認します。
- クライアントシステムに管理者としてログインできることを確認します。
- クライアントシステムがサポートされているオペレーティングシステムを使用していることを確認します。[[Mac OS X クライアントのシステム要件 \(P. 6\)](#)] を参照してください。
- RDP 表示プロトコルを使用して View デスクトップに接続する予定の場合には、Mac クライアントシステムに Microsoft Remote Desktop Connection Client for Mac のバージョン 2.0 以降がインストールされていることを確認します。

手順

- 1 管理者権限を持つユーザーとしてクライアントシステムにログインします。
- 2 ブラウザを開き、仮想デスクトップへのアクセスを提供する View Connection Server インスタンスの URL を入力します。
- 3 Web ページの指示に従います。

次に進む前に

View デスクトップに接続します。[[初回の View デスクトップへのログイン \(P. 9\)](#)] を参照してください。

Dock への VMware View Client の追加

他のアプリケーションと同じような操作で、View Client を Dock に追加できます。

手順

- 1 [アプリケーション] フォルダで、[VMware View Client] をダブルクリックします。
- 2 コンテキストメニューが表示されるまで、[VMware View Client] アイコンをクリックしたままにします。
- 3 [オプション] - [ドックに保持] を選択します。

VMware View Client を終了するときに、アプリケーションのショートカットが Dock に残ります。

サーバ接続とデスクトップの管理

View Client を使用して View Connection Server またはセキュリティ サーバに接続し、View デスクトップにログインするか View デスクトップからログオフします。トラブルシューティングする場合にも、割り当てられている View デスクトップをリセットし、チェックアウトしたデスクトップをロールバックできます。

管理者による View デスクトップのポリシーの構成方法によっては、エンドユーザーはデスクトップで多くの操作を実行できるようになります。

- [初回の View デスクトップへのログイン \(P. 9\)](#)
エンドユーザーが仮想デスクトップにアクセスする前に、クライアントシステムから仮想デスクトップにログインできることをテストします。
- [View Client の証明書確認モード \(P. 10\)](#)
管理者は、またときにはエンドユーザーは、サーバの証明書確認が失敗した場合にクライアント接続を拒否するかどうかを設定できます。

- [エンドユーザーの証明書確認の構成 \(P. 11\)](#)
管理者は、証明書検証モードを構成し、たとえば、完全な検証を常に実行するようにすることができます。
- [デスクトップの切り替え \(P. 11\)](#)
デスクトップに接続している場合に、別のデスクトップに切り替えることができます。
- [デスクトップからのログオフまたは切断 \(P. 11\)](#)
ログオフせずに View デスクトップから切断すると、アプリケーションは開いたままになります。
- [ホーム画面からの View サーバショートカットの削除 \(P. 12\)](#)
View サーバに接続すると、サーバのショートカットが View Client のホーム画面に保存されます。
- [デスクトップのロールバック \(P. 12\)](#)
ロールバックは、Windows PC またはノートパソコン上のローカル モードでの使用のためにチェックアウトした仮想デスクトップに行った変更を廃棄することになります。

初回の View デスクトップへのログイン

エンドユーザーが仮想デスクトップにアクセスする前に、クライアントシステムから仮想デスクトップにログインできることをテストします。

開始する前に

- Active Directory のユーザー名とパスワード、または RSA SecurID のユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を入手します。
- ログインするためのドメイン名を入手します。
- 管理タスクの実行については以下で説明しています。[\[View Client 向けの View Connection Server の準備 \(P. 7\)\]](#)。
- 企業ネットワークの外で、セキュリティ サーバを使わず仮想デスクトップにアクセスする場合、クライアント デバイスが VPN 接続を使用する設定になっており、VPN 接続がオンになっていることを確認してください。

重要 VMware は、VPN よりセキュリティ サーバの利用を推奨します。

- 仮想デスクトップへのアクセスを提供するサーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) がわかっていることを確認します。また、ポートが 443 ではない場合は、ポート番号も必要です。
- RDP 表示プロトコルを使用して View デスクトップに接続することがある場合は、AllowDirectRDP View Agent グループ ポリシー設定が有効になっていることを確認します。
- 管理者が許可している場合、View サーバから提示される SSL 証明書について、証明書確認モードを構成できます。[\[View Client の証明書確認モード \(P. 10\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 [アプリケーション] フォルダで、[VMware View Client] をダブルクリックします。
- 2 View Client のホーム画面上で、[サーバの追加] アイコンをクリックします。
- 3 必要があればサーバ名とポート番号を入力し、[続行] をクリックします。
たとえば、デフォルトではないポートを使用する場合には、「**view.company.com:1443**」と入力します。
- 4 RSA SecurID の認証情報の入力を求められた場合、ユーザー名とパスコードを入力して [続行] をクリックします。
- 5 ユーザー名とパスワードを入力し、ドメインを選択し、[続行] をクリックします。
ログイン ダイアログ ボックスが表示される前に、確認する必要があることを知らせるメッセージが表示されます。
- 6 (オプション) プロトコルを選択します。
デフォルトは、[PCoIP] です。代わりに Microsoft RDP を使用する場合、デスクトップ名の下にある [PCoIP] をクリックして切り替え、[RDP] を選択します。

7 View デスクトップのショートカットをダブルクリックして接続します。

接続した後、クライアントウィンドウが表示されます。View Client がデスクトップに接続できない場合は、次の手順を実行します。

- View Connection Server が SSL を使用しないように構成するかどうかを決定します。View Client は、SSL 接続を必要とします。View Administrator のグローバル設定で、[クライアント接続に SSL を使用する] チェックボックスが選択されていないかどうかを確認します。このチェックボックスが選択されていない場合、チェックボックスを選択して SSL を使用する必要があります。または、HTTPS が有効なロード バランサや View Connection Server への HTTP 接続を作成するように構成されている他の中間デバイスにクライアントが接続できるように環境をセットアップする必要があります。
- View Connection Server 用のセキュリティ証明書が正常に動作していることを確認します。正常に動作していない場合は、View Administrator で、デスクトップの View Agent が到達不能になる場合もあります。
- View Connection Server インスタンスで設定されているタグがこのユーザーからの接続を許可していることを確認します。『VMware View 管理者ガイド』を参照してください。
- ユーザーがこのデスクトップにアクセスする資格を付与されていることを確認します。『VMware View 管理者ガイド』を参照してください。
- RDP 表示プロトコルを使用して View デスクトップに接続している場合、クライアント コンピュータでリモート デスクトップ接続が許可されていることを確認します。

View Client の証明書確認モード

管理者は、またときにはエンド ユーザーは、サーバの証明書確認が失敗した場合にクライアント接続を拒否するかどうかを設定できます。

View Connection Server と View Client の間の SSL 接続について、証明書が確認されます。証明書検査では、次のような検査が行われます。

- 証明書の目的は、送信側の ID 検証やサーバ通信の暗号化以外にあるか。つまり、証明書のタイプは正しいか。
- 証明書は期限切れになっているか、また有効なのは未来のみか。つまり、証明書はコンピュータの時刻に応じて有効になっているか。
- 証明書上の共通名は、それを送信するサーバのホスト名と一致しているか。ロード バランサが、View Client で入力されたホスト名と一致しない証明書のサーバに、View Client をリダイレクトした場合に不一致は発生します。他の理由としては、クライアントにホスト名ではなく IP アドレスを入力した場合に発生します。
- 不明ユーザー、または信頼されていない証明機関 (CA) によって署名された証明書か。自己署名された証明書は、信頼されていない CA の証明書タイプの 1 つです。

このチェックをパスするためには、信頼の証明書チェーンがデバイスのローカル証明書ストアに根ざしている必要があります。

注意 自己署名のルート証明書を配布して Mac OS X クライアントシステムにインストールする手順については、Apple の Web サイトから入手できる、Mac OS X Server の『Advanced Server Administration』マニュアルを参照してください。

管理者が許可している場合、証明書確認モードを設定できます。[Finder] メニュー バーから [VMware View Client] - [環境設定] を選択します。選択肢は次の 3 つです。

- [未検証の接続を拒否 (安全)]。証明書の確認に失敗した場合、クライアントはサーバに接続できなくなります。失敗した確認は、エラー メッセージに一覧表示されます。
- [接続が安全ではない可能性がある場合に警告する (デフォルト)]。サーバが自己署名証明書を使用しているため証明書の確認に失敗した場合、[継続] をクリックして警告を無視します。自己署名証明書の場合、View Client に入力した View Connection Server 名と証明書名は一致する必要はありません。
- [未検証の接続を許可 (危険)]。この設定は、証明書確認は View によって一切実行されないことを意味します。

証明書確認モードが [警告] に設定されている場合、自己署名証明書を使用する View Connection Server インスタンスにも接続できます。

後で管理者が信頼される証明機関のセキュリティ証明書をインストールし、接続時のすべての証明書確認にパスするようになると、この信頼された接続はその特定のサーバに対して記録されます。その後、このサーバが自己署名証明書を再び提示すると、接続は失敗します。特定のサーバが完全に検証可能な証明書を提示した後は、必ずその処理が行われます。

エンド ユーザーの証明書確認の構成

管理者は、証明書検証モードを構成し、たとえば、完全な検証を常に実行するようにすることができます。

View Connection Server と View Client の間の SSL 接続について、証明書が確認されます。管理者は、次のいずれかの方法を使用するように検証モードを構成できます。

- エンド ユーザーに検証モードの選択を許可します。このリストのこれ以降では、3 つの検証モードを説明します。
- (検証なし) 証明書確認は実行されません。
- (警告) 自己署名証明書がサーバによって提示されると、エンド ユーザーに警告が通知されます。ユーザーは、このタイプの接続を許可するかどうかを選択できます。
- (フルセキュリティ) フル検証が実行され、フル検証をパスしない接続は拒否されます。

実行される検証確認のタイプの詳細については、[「View Client の証明書確認モード \(P. 10\)」](#)を参照してください。

エンド ユーザーが変更できないように、検証モードを設定できます。Mac クライアントの `/Library/Preferences/com.vmware.view.plist` ファイルの「Security Mode」キーを、次のいずれかの値に設定します。

- 1 は、Full Verification(フル検証)を実装します。
- 2 は、Warn If the Connection May Be Insecure(接続が安全ではない可能性がある場合に警告する)を実装します。
- 3 は、No Verification Performed(検証を実行しない)を実装します。

デスクトップの切り替え

デスクトップに接続している場合に、別のデスクトップに切り替えることができます。

手順

- ◆ 同じサーバまたは異なるサーバから View デスクトップを選択します。

オプション	操作
同じサーバの異なる View デスクトップを選択する	ツールバーの [切断] ボタンをクリックするか、[Finder] メニュー バーから [デスクトップ] - [切断] を選択します。
異なるサーバの View デスクトップを選択する	ツールバーの右側の [別のサーバを選択] ボタンをクリックします。

デスクトップからのログオフまたは切断

ログオフせずに View デスクトップから切断すると、アプリケーションは開いたままになります。

View デスクトップに接続していないときに、最初に接続しなくてもログオフできます。この機能を使用すると、デスクトップに `<Ctrl> + <Alt> + ` を送信してから [ログオフ] をクリックするのと同じ結果になります。

注意 Windows のキーの組み合わせ `<Ctrl> + <Alt> + ` は、View デスクトップではサポートしていません。`<Ctrl> + <Alt> + ` の代わりに、メニューバーから [デスクトップ] - [Ctrl+Alt+Del の送信] を選択することもできます。

または、Apple のキーボードで `<Control> + <Option> + <Delete>` を押します。

手順

- ログオフせずに切断する。

オプション	アクション
View Client も終了する	ウィンドウの隅にある [閉じる] ボタンをクリックするか、[Finder] メニュー バーから [ファイル] - [閉じる] を選択します。
同じサーバの異なる View デスクトップを選択する	ツールバーの [切断] ボタンをクリックするか、[Finder] メニュー バーから [デスクトップ] - [切断] を選択します。
異なるサーバの View デスクトップを選択する	ツールバーの右側の [別のサーバを選択] ボタンをクリックします。

注意 View 管理者は、切断された時点で自動的にログオフするようにデスクトップを設定できます。その場合、デスクトップで開いているプログラムは停止します。

- ログオフして切断する。

オプション	アクション
デスクトップのオペレーティングシステムで	Windows の [スタート] メニューを使用してログオフします。
メニュー バーから	[Finder] メニュー バーから [デスクトップ] - [ログオフ] を選択します。 この手順を使用すると、初めに、View デスクトップで開いているファイルが保存されずに閉じられます。

- View デスクトップに接続していない場合にログオフする。

この手順を使用すると、初めに、View デスクトップで開いているファイルが保存されずに閉じられます。

オプション	アクション
サーバショートカットがあるホーム画面から	a サーバショートカットをダブルクリックし、認証情報を入力します。 認証情報には、RSA SecurID 認証情報やデスクトップにログインするための認証情報が含まれる場合があります。 b デスクトップを選択し、[Finder] メニュー バーから [デスクトップ] - [ログオフ] を選択します。
デスクトップショートカットがあるホーム画面から	デスクトップを選択し、[Finder] メニュー バーから [デスクトップ] - [ログオフ] を選択します。

ホーム画面からの View サーバ ショートカットの削除

View サーバに接続すると、サーバのショートカットが View Client のホーム画面に保存されます。

View Connection Server のショートカットを選択して、Delete キーを押すか、ホーム画面でショートカットをコントロールクリックまたは右クリックして、[削除] を選択して、ショートカットを削除できます。

サーバに接続した後に表示される View デスクトップのショートカットは削除できません。

デスクトップのロールバック

ロールバックは、Windows PC またはノートパソコン上のローカル モードでの使用のためにチェックアウトした仮想デスクトップに行った変更を廃棄することになります。

View administrator がこの機能を利用でき、デスクトップがチェックアウトされている場合のみ、View デスクトップをロールバックできます。



注意 ローカル モードのデスクトップが変更され、ロールバック前に変更が View サーバにレプリケートされない場合は、変更は失われます。

開始する前に

- Active Directory のユーザー名とパスワード、または RSA SecurID のユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を入手します。
- データまたはファイルを保存するために、デスクトップをサーバにバックアップします。

View Administrator を使ってデータをサーバにレプリケートするか、ポリシーが許可する設定の場合、デスクトップが現在チェックアウトされている Windows クライアントのローカル モードで View Client を使用できます。

手順

- 1 View Client のホーム画面に View Connection Server ショートカットが表示されている場合、デスクトップにアクセスするサーバのショートカットをダブルクリックして、認証情報を入力します。
 - a RSA SecurID の認証情報の入力を求められた場合、ユーザー名とパスコードを入力して [続行] をクリックします。
 - b ログイン ダイアログ ボックスでユーザー名とパスワードを入力します。
- 2 View デスクトップのショートカットを表示している View Client のホーム画面で、デスクトップを選択して、[Finder] のメニュー バーから [デスクトップ] - [ロールバック] を選択します。

View デスクトップがロールバックされた後、Mac クライアントからログインできます。

Mac での Microsoft Windows デスクトップの使用

Mac OS X 用 View Client では、Windows 用 View Client に搭載されている機能の一部がサポートされています。

機能サポート一覧

Mac OS X 用 View Client では、Windows 用 View Client のデスクトップやノート PC など、その他のクライアントで使用可能な機能の一部がサポートされています。

表 1-1. Mac OS X クライアントの Windows デスクトップでサポートされる機能

機能	Windows 7 の View デスク トップ	Windows Vista の View デス クトップ	Windows XP の View デスク トップ
RSA SecurID	X	X	X
シングル サインオン	X	X	X
RDP 表示プロトコル	X	X	X
PCoIP 表示プロトコル	X	X	X
USB アクセス			
Wyse MMR			
仮想印刷			
ロケーション ベースの印刷	X	X	X
スマート カード			
複数のモニタ			
ローカル モード			

上記の機能の詳細および制限事項については、『View アーキテクチャ プランニング』ドキュメントを参照してください。

国際化

View Client では、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、および韓国語でのユーザー インターフェースとマニュアルが利用可能です。

テキストとイメージのコピー アンド ペースト

管理者がこの機能を有効にしていると、リモートの View デスクトップとクライアントシステムの間、または 2 つの View デスクトップの間で書式付きテキストやイメージをコピー アンド ペーストできます。制限事項がいくつか存在します。

PCoIP 表示プロトコルを使用し、View 5.x 以降の View デスクトップを使用している場合、View の管理者は、クライアントシステムから View デスクトップへ、または View デスクトップからクライアントシステムへのコピー アンド ペースト操作のみを許可するように設定できます。また、双方向のコピー アンド ペースト操作を許可したり、これらの操作を禁止したりすることもできます。

管理者は、View デスクトップの View Agent に関連するグループ ポリシー オブジェクト (GPO) を使用して、コピー アンド ペーストの機能を構成できます。詳細については、『VMware View の管理』ドキュメントのポリシーの構成の章にある View PCoIP の一般的なセッション変数に関するトピックを参照してください。

サポートされているファイル形式は、テキスト、画像、RTF (リッチ テキスト フォーマット) です。コピー アンド ペーストの操作では、クリップボードに 1MB のデータを格納できます。書式付きテキストをコピーする場合、そのデータの一部はテキストで、一部は書式設定情報になります。たとえば、800KB のドキュメントをコピーするときには 1MB 以上のデータが使用される可能性があります。これは、200KB 以上の RTF データがクリップボードに格納されることが考えられるためです。

大量の書式付きテキストまたはテキストとイメージをコピーする場合、そのテキストとイメージをペーストしようとする、プレーン テキストの一部または全部は表示されますが、書式設定やイメージは表示されません。なぜなら、これらの 3 種類のデータは別々に保存されることがあるからです。たとえばイメージは、コピー元のドキュメントの種類に応じて、イメージまたは RTF データとして保存されます。

テキストおよび RTF データが 1MB 未満である場合には、書式付きテキストはペーストされます。RTF データは切り捨てできないのが一般的であるため、テキストと書式設定で 1MB 以上を使用する場合には、RTF データは破棄され、プレーン テキストがペーストされます。

1 回の操作で選択した書式付きテキストとイメージのすべてをペーストできない場合には、1 度に少しずつコピー アンド ペーストする必要があります。

View デスクトップとクライアント コンピュータのファイル システムの間では、ファイルのコピー アンド ペーストはできません。

View Client のトラブルシューティング

View Client に関するほとんどの問題は、デスクトップのリセットまたは VMware View Client の再インストールで解決することができます。

デスクトップのリセット

リセット操作を実行すると、デスクトップがシャットダウンおよび再起動されます。保存されていないデータは失われます。

デスクトップオペレーティングシステムが応答しなくなった場合、デスクトップのリセットが必要となる場合があります。

View デスクトップをリセットする操作は、物理的な PC を強制的に再起動するためにその PC のリセット ボタンを押す操作に相当します。View デスクトップで開いているすべてのファイルが、保存されずに閉じられることとなります。

デスクトップをリセットできるのは、View 管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。

手順

- ◆ [リセット] コマンドを使用します。

オプション	操作
デスクトップのオペレーティングシステムで	[Finder] メニュー バーから [デスクトップ] - [リセット] を選択します。
サーバショートカットがあるホーム画面から	<p>a サーバショートカットをダブルクリックし、認証情報を入力します。</p> <p>認証情報には、RSA SecurID 認証情報やデスクトップにログインするための認証情報が含まれる場合があります。</p> <p>b デスクトップを選択し、[Finder] メニュー バーから [デスクトップ] - [リセット] を選択します。</p>
デスクトップ ショートカットがあるホーム画面から	デスクトップを選択し、[Finder] メニュー バーから [デスクトップ] - [リセット] を選択します。

View デスクトップのオペレーティングシステムが再起動されます。View Client がデスクトップから切断されます。

次に進む前に

システムが再起動するのを待ってから、View デスクトップへの接続を試行します。

View Client のアンインストール

View Client の問題を VMware View Client アプリケーションをアンインストールし、再インストールして解決できることがあります。

他のアプリケーションをアンインストールするのと同じ方法で、View Client をアンインストールします。

[VMware View Client] アプリケーションを [アプリケーション] フォルダから [ごみ箱] にドラッグし、ごみ箱を空にします。

アンインストールが完了すると、アプリケーションを再インストールできます。

[\[Mac OS X への View Client のインストール \(P. 7\)\]](#) を参照してください。

インデックス

C

Ctrl+Alt+Delete 11
Ctrl+Alt+Del メニュー コマンドの送信 11

D

Dock 8

M

Mac OS X、View Client のインストール 6, 7

O

OS X、View Client のインストール 7

S

SSL 証明書、検証 11

U

UPN、View Client 9

V

View Agent、インストール要件 6
View Client
 Mac OS X のシステム要件 6
 Mac OS X へのインストール 7
 Mac クライアントのセットアップ 5
 View Portal を使用したインストール 8
 起動 9
 デスクトップから切断 11
 トラブルシューティング 14
View Client のアンインストール 15
View Connection Server のショートカット 12
View Connection Server、ショートカット 12
View Portal 8
View デスクトップ、ロールバック 12
View デスクトップからの切断 11
View デスクトップのロールバック 12
View デスクトップへのログイン 9

W

Windows デスクトップ 13

い

イメージ、コピー 14

お

オペレーティング システム、View Agent でサポート
 されている 6

き

機能サポート一覧、Mac OS X 向け 13

く

クライアント デバイスの前提条件 7

こ

国際化 14

さ

サーバ証明書の検証 11
サーバ ショートカット 12
サーバ接続 8

し

システム要件、Mac OS X 向け 6
証明書、問題の無視 10, 11
証明書確認の検証モード 11

せ

セキュリティ サーバ 7

て

テキスト、コピー 14
テキストとイメージのコピー 14
テキストとイメージのペースト 14
デスクトップ
 切り替え 11
 リセット 14
 ロールバック 12
 ログオフ 11
デスクトップの切り替え 11
デスクトップのリセット 14

と

トラブルシューティング 14

は

ハードウェア要件、Mac 6

ろ

ログオフ 11

